

## グループホーム同朋1

## 地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取組んで いきたい 項目	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	21	
理念に基づく運営	1 理念の共有	1 理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)		自己評価3項目・外部評価2項目	3	
		1 外部評価1	<b>地域密着型サービスとしての理念【外部評価】</b> 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「アットホームな暮らしの中でその人らしさを大切にし 笑顔と優しい心で生活支援」を事業所独自の理念を作り上げている。	1	運営委員会の中で地域の方々と連携をとり、町内行事に参加している。今後、地域に溶け込んでいけるように努力したい。地域にも視点を向けた理念の見直しを考えていきたい。
		2 外部評価2	<b>理念の共有と日々の取り組み【外部評価】</b> 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は笑顔で接することや雰囲気作りに注意している。利用者の自己決定を尊重している。	1	地域の行事などに参加している。
		3	<b>家族や地域への理念の浸透</b> 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	家族としては地域密着型よりも本人を尊重して施設で落ち着いた生活をしていく事を望んである。地域の行事に参加したこと等をその都度、同朋便りを通じて家族に紹介している。	1	施設としては散歩や買い物を通じて少しずつ地域の方に理解してもらっている。
		2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)		自己評価3項目・外部評価1項目	2	
	2 地域との支え合い	4	<b>隣近所とのつきあい</b> 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	行事などに関しては声かけを行い参加していただくように努めている。買い物に行きつけの店にも誘いかけている。	1	広報誌なども近所の店に張っていただけるように付き合っている。行事の参加も呼びかけている。
5 外部評価3		<b>地域とのつきあい【外部評価・重点】</b> 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	参加している。	1	老人会、敬老会に参加。小学校、地域の幼稚園の運動会、お遊戯会の練習を見学に行く。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地 え域 合と いの	6	<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	まだ行えていない	0	今後の課題としたい
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	4	
		7 外部 評価 4	<b>評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】</b> 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員間で常に話し合い改善の努力をしている。	0	
		8 外部 評価 5	<b>運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	多くの意見は出ないが出た意見に対しては取り入れてサービスの向上に努めている。	1	
		9 外部 評価 6	<b>市町村との連携【外部評価・重点】</b> 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括センターの方を交えてお話を聞いている。	1	今後も地域とのかかわり方について相談を行い、積極的に取り組んでいきたい。
		10 外部 評価 7	<b>権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】</b> 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	支援している。	1	地域福祉権利擁護事業を活用している。青年後見人制度について勉強会に参加したい。
		11	<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待に注意、防止に努めている。	1	当ホームでいじめ、虐待は発生していない。見過ごすことがないように職員全員が学ぶ機会を持ちたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	7	
理念に基づく運営	4 理念を実践するための体制	12	<b>契約に関する説明と納得</b> 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分に説明している。	1	今後も十分に時間をかけて説明、納得いくようにする。
		13	<b>運営に関する利用者意見の反映</b> 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情、意見、不満などを表現できるように投稿箱を設置している。	1	すぐに対応できるようにしている。
		14	<b>家族等への報告【外部評価・重点】</b> 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	随時、報告、連絡を行っている。職員の移動に関しては報告が遅れがちである。	1	定期的に暮らしぶりを報告し、家族も参加できる機会を提供したい。新入職員は口頭で紹介している。
		15	<b>運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】</b> 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情箱を設置している。運営会議に参加していただき話し合いの場所を設置している。	1	
		16	<b>運営に関する職員意見の反映</b> 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や全体会議などを設けて意見を反映できるようにしている。	1	こん後も毎月1回の職員会議を行い、職員の意見を汲み取れるようにする。
		17	<b>柔軟な対応に向けた勤務調整</b> 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入退所や行事などでも職員の勤務状況を確認し、必要な人員が確保できるように調整を行っている。	1	今後も細かな配慮を行いたい

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4 理 念 め の 実 践 制 す	18	<b>職員の異動等による影響への配慮【外部評価】</b> 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職があった場合ユニットの質を均等にす る為の配慮をしているのでダメージは少ない。	1	
		5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)	自己評価6項目・外部評価4項目	5	
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19	<b>人権の尊重【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	性別や年齢などを理由に採用対象外としていない、楽しく仕事をさせていただいている。休みの希望などにも応じている。	1	性別に関係なく採用している。年齢に関係なく働いていただいている。
		20	<b>人権教育・啓発活動【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	入居者の人権を尊重するように日々取り組んでいる。	1	勉強会の機会を持ちたい。
		21	<b>職員を育てる取り組み【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会に参加できている。	1	計画的に勉強会を開き質の確保に努めたい。
		22	<b>同業者との交流を通じた向上【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	出来ていない	0	今後の課題として取り組みたい。
		23	<b>職員のストレス軽減に向けた取り組み</b> 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員間で食事会などを行っている。	1	職員の悩みや相談に応じれるよう環境を整える。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	<b>向上心を持って働き続けるための取り組み</b> 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の努力、実績、勤務状況を把握している。	1	職員各人が向上できるように、情報の提供を行っていききたい。
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2 (自己 25～34・外部 15～16)				自己評価 10 項目・外部評価 2 項目	8	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価 4 項目・外部評価 1 項目	4	
	1 相談 から 利用 に至 るま での 関係 づく りそ その 対応	25	<b>初期に築く本人との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	その都度相談に応じ、不安を聞く機会を設け受け止め会話できる環境を作っている。	1	家族の不安を取り除くように連絡を密に行い信頼関係を築くようにしている。
		26	<b>初期に築く家族との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	不安なこと、求められていることをよく聴いている。	1	本人、家族が必要としているサービスに心がけたい。
		27	<b>初期対応の見極めと支援</b> 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	対応できている	1	本人、家族からの情報を得られるようによく聴くことに努めている。
		28 外部 評価 15	<b>馴染みながらのサービス利用【外部評価】</b> 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験利用なども試みている。	1	受け入れ体制を整え、まず安全が確保できるように工夫している。
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)			自己評価 6 項目・外部評価 1 項目	4	
係り とこ れな 関係 づく り の 支 援	29 外部 評価 16	<b>本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	常にコミュニケーションを取り話し合える雰囲気を作っている。	1	一方的な支援でなく入居者から学んだり、支えあう関係を心がけている。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	<b>本人を共に支えあう家族との関係</b> 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族行事にも参加できるように、現在の介護状況をお知らせし、家族も介護に参加していただく。	1	家族が出来ることを相談を行いながら行ってもらえるようにしていく。
		31	<b>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</b> これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入所前の生活環境を把握しよりよい人間関係を築けるように支援している。	1	
		32	<b>馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方との集まりや交流はできていない	0	可能な限り対応したい。
		33	<b>利用者同士の関係の支援</b> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	リビングのソファにて会話できるように環境作りを行っている。共通の話題や情報を提供している。	1	
		34	<b>関係を断ち切らない取り組み</b> サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	特に取り組んでいない。	0	今後は気軽に相談して頂けるような関係を維持できるように取り組みたい。
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価17項目・外部評価6項目	13	
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価3項目・外部評価1項目	3	
	1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	<b>思いや意向の把握【外部評価】</b> 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の意思を尊重し出来る限りの要望は聞いている。	1	各個人の要望が違っていることが多く個別の対応ができる様にしたい。



大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	<b>これまでの暮らしの把握</b> 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	把握できている。	1	地域で暮らしていた時の情報が乏しく情報収集を行っていく。
		37	<b>暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	総合的に把握できている。	1	職員全員が把握できるようにしたい。
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	2		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38	<b>チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	会議で意見交換を行い作成に反映されている。	1	情報の共有化を行い質を高めたい。
		39	<b>現状に即した介護計画の見直し【外部評価】</b> 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	見直し以前に対応できない変化時は ほぼ入院されてあり新たな計画、見直しは行われていない。	0	退院後は見直し作成できている。
		40	<b>個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録を行い、実践への反映、計画の見直しに活かしている。記録に実践状況を緑の色をつけて記入している。	1	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 柔軟な支援	41	<b>事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】</b> 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	グループホームだけの事業を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	8	
		42	<b>地域資源との協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	回想法のボランティアとして福岡女学院の学生との交流がある。	1	民生委員との交流を通じ地域の社会資源との交流を増やしたい。
		43	<b>他のサービスの活用支援</b> 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	訪問マッサージの利用を行っている。	1	
		44	<b>地域包括支援センターとの協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括センターとの共働出来ていない	0	困難事例があるときに包括センターに相談したい。
		45	<b>かかりつけ医の受診支援【外部評価】</b> 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の往診、緊急時の往診、電話での相談が出来ている。	1	家族からの要望があれば、専門医での往診も配慮している。
		46	<b>認知症の専門医等の受診支援</b> 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症の専門医に定期的な受診が行われている。電話相談なども行っている。	1	受診結果や指示については個別の
		47	<b>看護職との協働</b> 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	入院されてあった看護職員に情報交換を行なうときもある。	1	日常の健康管理に活かせていない。



大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	<b>早期退院に向けた医療機関との協働</b> 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時に医師、家族等に情報交換、相談をしている。	1	退院が早くできる様に医療機関と連絡を行い入院中の状況を聞き、早期に退院できるように体制をとっている。
		49 外部評価 22	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	かかりつけ医を中心とし家族と方向性を確認しながら重度化に備えている。	1	入居時にも今後、状況の変化があった場合を家族に説明している。
		50	<b>重度化や終末期に向けたチームでの支援</b> 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	今後の変化に備えて、かかりつけ医、家族と話し合い方向性を共有できるように話し合いが行われている。	0	当ホームでは終末期に備えてのケアを想定していない。身体状況の重度化は医療機関への入院や特老や老健への入所に対応している。
		51	<b>住み替え時の協働によるダメージの防止</b> 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	住み替え時に情報交換を行っている。	1	ダメージが少ないように情報交換を密に行っている。
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1~2 (自己 52~89・外部 23~33)				自己評価38項目・外部評価11項目	36	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)~(5) (自己 52~81・外部 23~30)		自己評価30項目・外部評価9項目	28	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52~54・外部 23~24)	自己評価3項目・外部評価2項目	3		
		52 外部評価 23	<b>プライバシーの確保の徹底【外部評価】</b> 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉かけに注意している。	1	プライドを損なうような対応を慎み、記録についても配慮した記述を心がけている。
53	<b>利用者の希望の表出や自己決定の支援</b> 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	希望や、自己決定ができる様な声かけに注意をしている。	1	意思の尊重、納得ができる様に支援したい。		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	<b>日々のその人らしい暮らし【外部評価】</b> 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	要望があれば近くのスーパーなどにも買い物に出かけて個人の要望が叶えられるように支援している。	1	全員の意見を反映できないので計画性を持って行なう。	
		(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)			自己評価6項目・外部評価2項目	6	
		55	<b>身だしなみやおしゃれの支援</b> その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	整髪は2ヶ月に1回来訪してもらい、個人で整髪されたい方は職員が送迎している。	1	本人の希望を聞き、店の紹介を行っている。	
		56 外部評価 25	<b>食事を楽しむことのできる支援【外部評価】</b> 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたいものをお聞きしたり、食材の皮むきを手伝っていただいたりしている。	1	一緒に献立が立てられるように支援したい。	
		57	<b>本人の嗜好の支援</b> 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつ時間を設けて好みのフルーツ、飲み物、おかしを出している。	1		
		58	<b>気持ちよい排泄の支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄介助が必要な方にはパターンをつかみ誘導を行っている。	1	失敗された時の心のケアも行っていきたい。	
59 外部評価 26	<b>入浴を楽しむことのできる支援【外部評価】</b> 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入りたい日に入れるように曜日を決めた入浴は行っていない。	1				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	<b>安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	リラックスできるように音楽をかけたり懐かしいビデオを流したりしている。	1	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	6	
		61 外部評価 27	<b>役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	役割を持ってもらい日々の生活に張り合いが持てるように支援している。また、気晴らしができる様に買い物や、外出の機会も多く持てるようにしている。	1	
		62	<b>お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物に付き添い個人の能力に応じた買い物ができる様に支援している。	1	
		63 外部評価 28	<b>日常的な外出支援【外部評価】</b> 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	気分転換に外出したり、買い物や、散歩に出かけたりしている。	1	身体能力を考慮しながら少人数での散歩を行なうなど個別の要望にも応じたい。
		64	<b>普段行けない場所への外出支援</b> 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族とともに旅行に出かけられたり、食事に出かけられたりされてある。	1	少人数での旅行を計画したい。
		65	<b>電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者ほんにんが自ら電話ができる環境にある。	1	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	<b>家族や馴染みの人の訪問支援</b> 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	昔の詩人が尋ねてこられたこともある。	1	個人情報保護に努めながら行っていきたい。	
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	6	
		67	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を行っていない。	1		
		68	<b>鍵をかけないケアの実践【外部評価】</b> 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	交通量の多い道路に面しているため、安全のために鍵をかけている。	0		
		69	<b>利用者の安全確認</b> 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーに配慮し居室への出入り時には必ず声かけ確認を行っている。	1		
		70	<b>注意の必要な物品の保管・管理</b> 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	物品の保管は危険から当座ける意味において生活の場か遠ざけて保管している。	1		
		71	<b>事故防止のための取り組み</b> 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒しないように見守りを強化している。誤薬を防ぐ為に名前を呼んで個人確認を行っている。	1		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	事故に備えて勉強会を行っている。事故報告書を作成し再発防止に努めている。	1	
		73 外部評価 30	<b>災害対策【外部評価】</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災報知機を設置し災害をすぐに外部に知らせることが出来る。定期的に避難訓練を行っている。	1	
		74	<b>リスク対応に関する家族等との話し合い</b> 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている		0	定期的に家族と個別の面談を行いたい。
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	7	
		75	<b>体調変化の早期発見と対応</b> 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	職員間で申し送りノートを活用し情報が共有化できるようにしている。	1	
		76	<b>服薬支援</b> 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬状況の共有化が行われている。症状の変化を確認するようにしている。	1	
		77	<b>便秘の予防と対応</b> 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分補給、体操、運動を行っている。	1	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	<b>口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後のケアができていない、夕食後のみ実施している。	1	毎食後の口腔ケアを行っていく。
		79	<b>栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人個人にあった調理の仕方、バランスの取れた食事を作っている。	1	
		80	<b>感染症予防</b> 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	手洗い、うがい、口腔ケアの実施、入浴後の消毒液の散布を行っている。	1	
		81	<b>食材の管理</b> 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具は熱湯及びはいたーにて消毒を行い、食材は魚屋、八百屋にて購入している。	1	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)		自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	8	
	2 生活の環境づくり	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)		自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	5	
		82	<b>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</b> 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りできるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関や建物周辺に花を飾ったり、季節の掲示物を行い親しみやすい雰囲気作りを行っている。	1	
		83	<b>居心地のよい共用空間づくり【外部評価】</b> 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間に造花や生花を置き明るい雰囲気作りを行っている。窓や居室入り口のドアに写真や好きなもので飾りつけを行いその人らしさを表現し、居心地良く過ごせるようにしている。	1	



大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	<b>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b> 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにソファを置き入居者同士会話できるようにしている。	1		
		85 外部評価 33	<b>居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】</b> 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居以前より使用していた使い慣れたタンスやベッドを使用している。	1		
		86	<b>換気・空調の配慮</b> 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめにやっている	空気の入れ替えは毎日実施、空調の設定もこまめに行っている。	1		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	3	
		87	<b>身体機能を活かした安全な環境づくり</b> 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全第一に生活が送れるようにしている。	1		
		88	<b>わかる力を活かした環境づくり</b> 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	認知能力の低下がある人でも混乱しないように予定表を作り間違わないように支援している。	1		
		89	<b>建物の外周りや空間の活用</b> 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭にはベンチを置き草花を植えて散歩や食事ができる様にしている。	1		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。